別紙様式第７号（第１４条第１項関係）

施設園芸等燃油価格高騰対策実施状況報告（令和　　事業年度）

番　　　号

年　月　日

一般社団法人日本施設園芸協会

会長　鈴木　秀典　殿

住　所

○○協議会

会長

施設園芸等燃油価格高騰対策実施要領（平成２５年２月２６日付け２４生産第２９０２号農林水産省生産局長通知）第６及び一般社団法人日本施設園芸協会施設園芸等燃油価格高騰対策実施要領（平成２５年３月１３日付け日施園第９８号）第１４条第１項の規定により別添のとおり報告する。

（別添）

施設園芸等燃油価格高騰対策実施状況報告書（令和〇事業年度）

|  |
| --- |
| 協議会名： |

第１　総括表

（１）補助金総括表

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 補助金額（円） |
| １　施設園芸セーフティネット構築事業２　茶セーフティネット構築事業３　推進事業 |  |
| 合　計 |  |

（注）推進事業は実績額、セーフティネット事業は燃油補填金積立金に対する補助金額を記入。

（２）資金の収支状況（施設園芸等燃油価格高騰対策資金）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　分 | 金　　額（円） | 備　考 |
| １．収　入　(a)+(b)+(c)+(d) |  |  |
| 前年度繰越額　　　　　(a) |  |  |
| 今年度造成額　　　　　(b) |  |  |
| 運　 用 　益　　　　　(c) |  |  |
| その他の収入　　　　　(d) |  |  |
| ２．支　出　　　　 (a)’+(b)’ |  |  |
| 補助金支出　　　　　　(a)’ |  |  |
| その他支出　　　　　　(b)’ |  |  |
| 次期繰越金　　（１－２）（又は残額） |  |  |

なお、今後の支出見込みの分かる資料を添付すること

第２　事業別内訳

１　施設園芸セーフティネット構築事業

（セーフティネット加入構成員の内訳）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 支援対象者名 | 燃油購入設定数量(ﾘｯﾄﾙ) | 燃油補填金積立額(円)※ | ○年度補填金支払額(円) | 対象期間 | 備考 |
|  | うち補助金 |
|  |  |  |  |  |  | ○年○月～○年○月 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合　計 |  |  |  |  |  |  |

（注）※は、「燃油購入予定数量(ﾘｯﾄﾙ)×積立単価(円/ﾘｯﾄﾙ)×1/2」で算出（農家積立分）。

（注）それぞれの支援対象者について事業参加者の内訳の一覧表（氏名、住所、燃油購入数量設定量、燃油補填積立金額、当該年度補填金支払額等）を作成し、添付する。

（注）件数が多い場合等は、本表を別葉とする。

（注）番号は、事業実施計画と同じ番号を用いること。

２　茶セーフティネット構築事業

（セーフティネット加入構成員の内訳）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 支援対象者名 | 燃油購入設定数量(ﾘｯﾄﾙ) | 燃油補填金積立額(円)※ | ○年度補填金支払額(円) | 対象期間 | 備考 |
|  | うち補助金 |
|  |  |  |  |  |  | ○年○月～○年○月 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合　計 |  |  |  |  |  |  |

（注）※は、「燃油購入予定数量(ﾘｯﾄﾙ)×積立単価(円/ﾘｯﾄﾙ)×1/2」で算出（農家積立分）。

（注）それぞれの支援対象者について事業参加者の内訳の一覧表（氏名、住所、燃油購入数量設定量、燃油補填積立金額、当該年度補填金支払額等）を作成し、添付する。

（注）件数が多い場合等は、本表を別葉とする。

（注）番号は、事業実施計画と同じ番号を用いること。

３　推進事業

（１）総括表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 事業に要した経費 | 補助金の額 | 備考 |
| 推進事業費 | 円 | 円 |  |

（２）取組内容及び効果等

|  |
| --- |
| ①推進・指導事務②審査・交付事務③実施確認事務④その他推進事業の実施に必要な事項 |

（注） それぞれの取組内容を簡潔に記載するとともに、実施の効果等を記載する。

第３　目標達成状況（毎年度報告）

１　省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ事業年度：令和〇事業年度（目標年度：令和○事業年度）

（１）当初目標

（10a当たり燃油使用量を削減する目標）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 燃油の種類 | 年間（加温期間）使用量 | 削減量③＝①－② | 削減率④＝③／①×100 |
| 現在① | 目標② |
| Ａ重油または灯油（灯油の場合はＡ重油に換算） | KL | KL | KL | ％ |
| 10a当たり | KL | KL | KL |

（注） 省エネルギー等対策推進計画第１の２の（１）10a当たり燃油使用量を削減する目標から転記する。

ただし、茶については、「燃油の種類は」「Ａ重油」とし、10ａあたりの「年間使用量」は、荒茶１kgあたりの燃油使用量を「Ｌ」で記入する。

（単位生産量当たり燃油使用量を削減する目標）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 燃油の種類 | 年間（加温期間）使用量 | 削減量③＝①－② | 削減率④＝③／①×100 |
| 現在① | 目標② |
| 生産量（品目名：　　　　　　） | ｔ | ｔ |  | ％ |
| １ｔ当たりの燃油使用量 | KL | KL | KL |

（注） 省エネルギー等対策推進計画第１の２の（２）単位生産量当たり燃油使用量を削減する目標から転記する。

（注）重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

（民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃油コストの変動を抑制する目標）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 燃油の種類 | 年間（加温期間）使用量：現在① | 年間（加温期間）抑制量：目標② | 抑制率③＝②／①×100 |
| １ｔ当たりの燃油使用量 | ＫＬ | ＫＬ | ％ |

（注） 省エネルギー等対策推進計画第１の２の（３）民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃油コストの変動を抑制する目標から転記する。

（２）達成状況

（10a当たり燃油使用量を削減）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 燃油の種類 | 年間（加温期間）使用量実績⑤ | 削減率⑥=(①－⑤)/①×100 |
| Ａ重油または灯油（灯油の場合はＡ重油に換算） | KL | ％ |
| 10a当たり | KL | ％ |

（注）「年間（加温期間）使用量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における使用量実績（小数点以下第１位を四捨五入）を記載する。

ただし、茶については、「燃油の種類は」「Ａ重油」とし、10ａあたりの「年間使用量」は、荒茶１kgあたりの燃油使用量を「Ｌ」で記入する。

（単位生産量当たり燃油使用量を削減）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 燃油の種類 | 年間（加温期間）生産量実績⑤ | 削減率⑥=(①－⑤)/①×100 |
| 生産量（品目名：　　　　　　　） | ｔ |  |
| １ｔ当たりの燃油使用量 | KL | ％ |

（注）「年間（加温期間）生産量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における生産量実績（小数点以下第１位を四捨五入）を記載する。

（注）重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

（注）支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位３品目（又は作付け戸数で全体の７割に達するまでの品目）について、枠を追加して記載。

（民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃油コストの変動を抑制）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 燃油の種類 | 年間（加温期間）抑制量実績⑤ | 削減率⑥=(①－⑤)/①×100 |
| Ａ重油または灯油（灯油の場合はＡ重油に換算） | KL | ％ |

（注）「年間（加温期間）抑制量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における抑制実績（小数点以下第１位を四捨五入）を記載する。

２　目標未達成の場合、達成に向けた取組の方向性

|  |
| --- |
|  |